

2020年12月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2020年9、10月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる
9月の生産動向	生産は持ち直している
10月の個人消費	乗用車新車販売は13カ月ぶりに前年を上回る
10月の公共投資	公共工事保証請負額は5カ月連続で前年を上回る
10月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年を下回る
10月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナによる所得・雇用環境への影響を注視する必要がある。

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

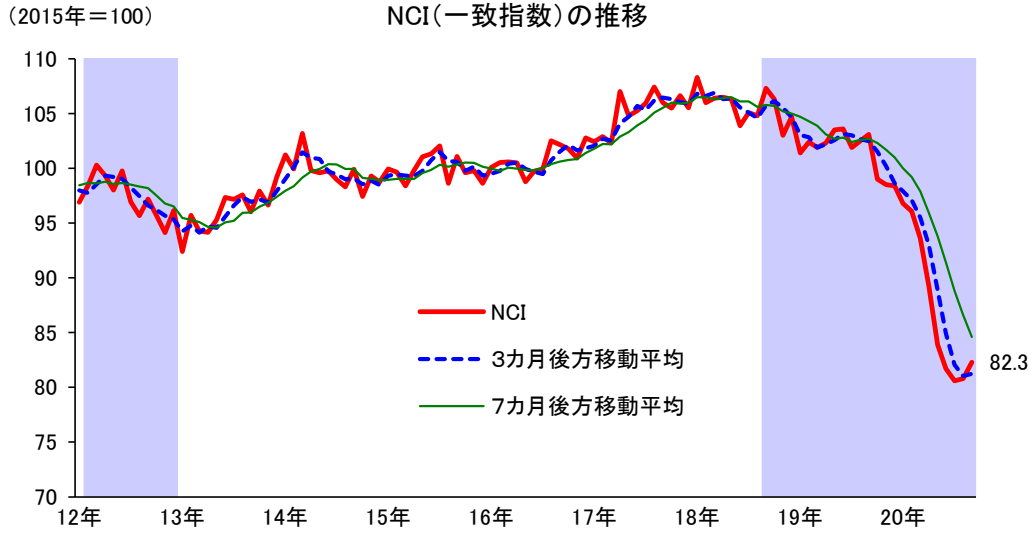
担当 桑井、中村(亮)

電話 026-224-0501

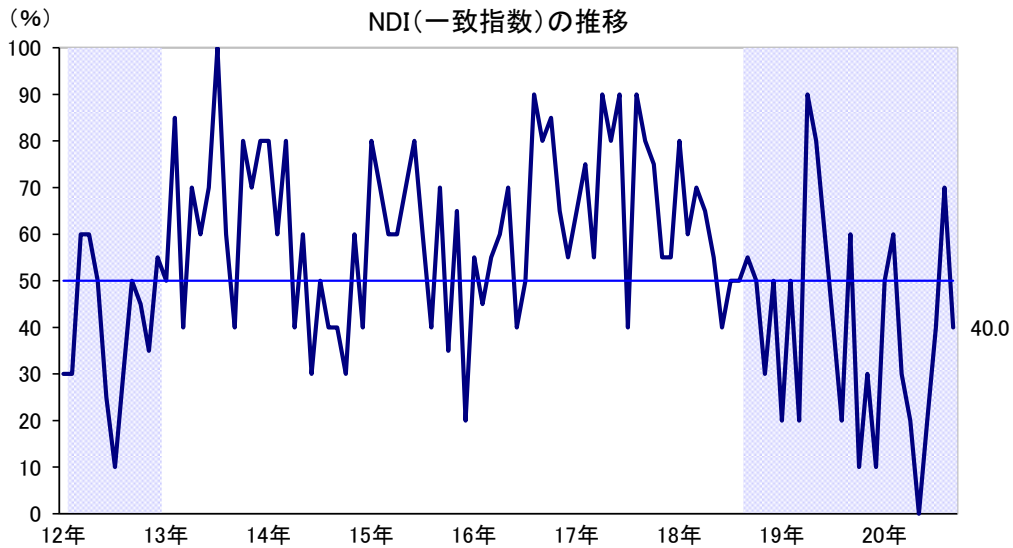


景気動向指数

- ・9月のNCI(一致指数)は、82.3と前月と比較し+1.5ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.2ポイントと15カ月ぶりに上昇し、7カ月後方移動平均は同△2.0ポイントと12カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は悪化を示している。
- ・NDI(一致指数)は40.0%となり、2カ月ぶりに景気判断の分かれ目となる50.0%を下回った。



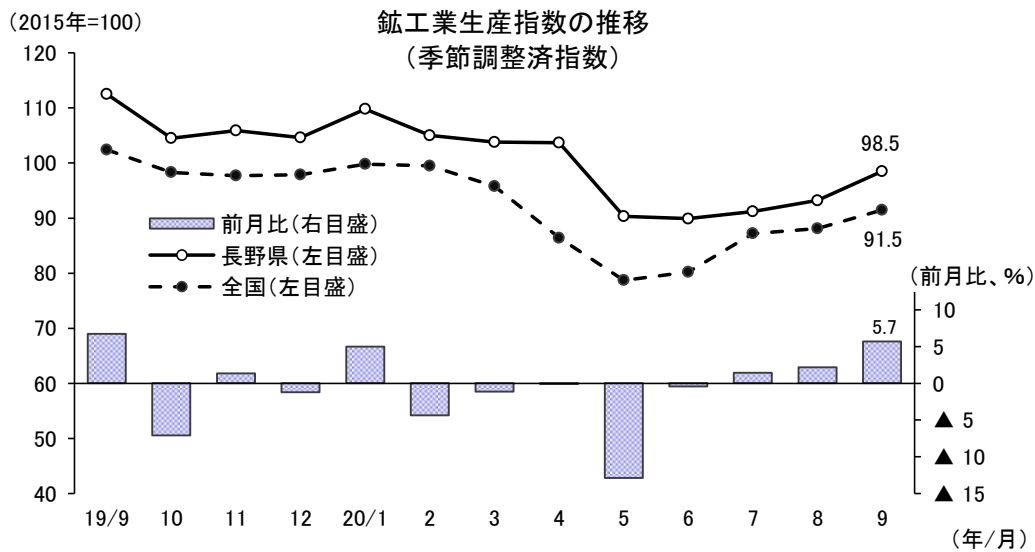
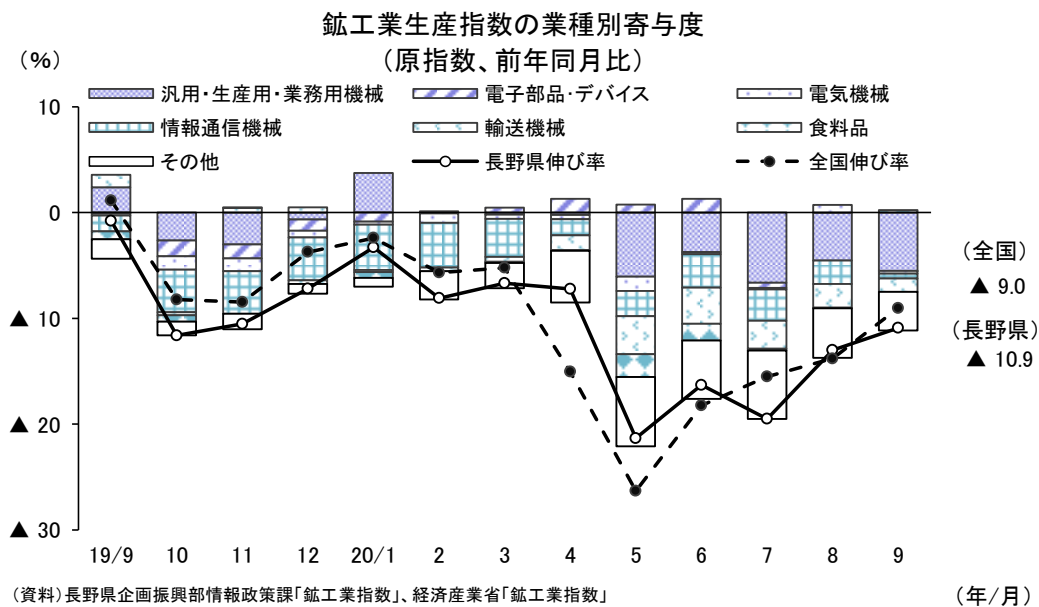
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

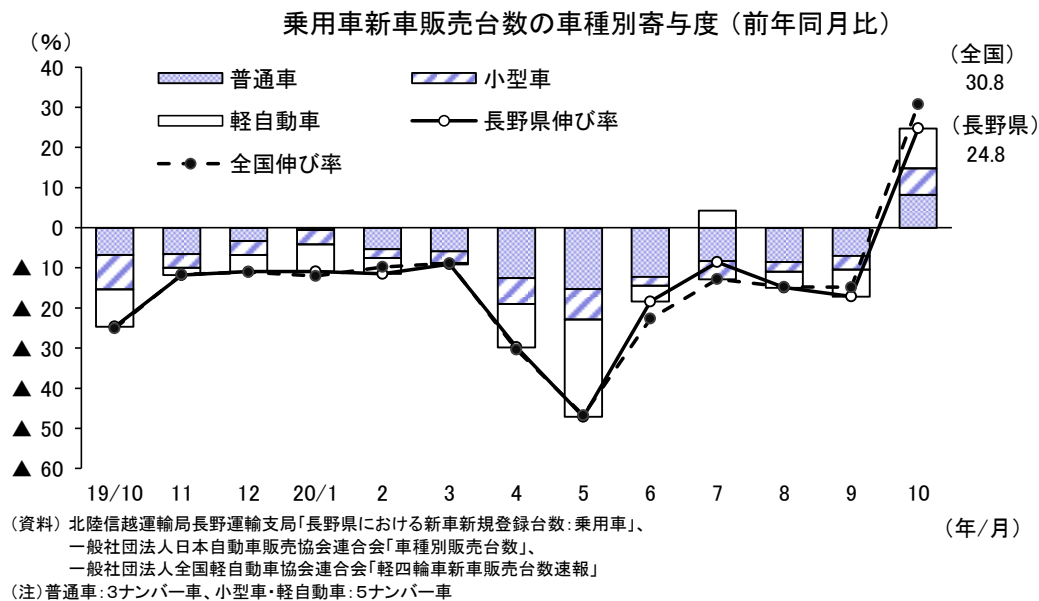
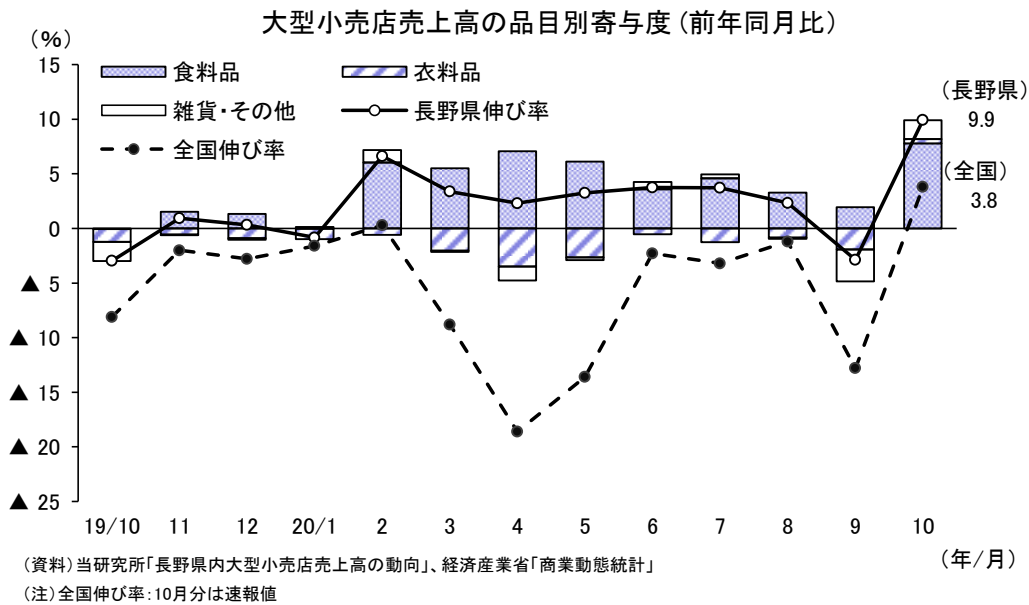
生産は持ち直している

- ・9月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△10.9%、季節調整済指数は前月比+5.7%となった。
- ・原指数は14カ月連続で前年を下回ったが、季節調整済指数は3カ月連続で前月を上回った。依然として新型コロナ前の水準は下回っているものの、国内外での経済活動再開の動きに伴い需要が回復してきており、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、飲料等の「食料品」は前年を上回ったものの、プラスチック加工機や金属工作機械等の「汎用・生産用・業務用機械」や、自動車部品等の「輸送機械」など、多くの業種で前年を下回った。



乗用車新車販売は13カ月ぶりに前年を上回る

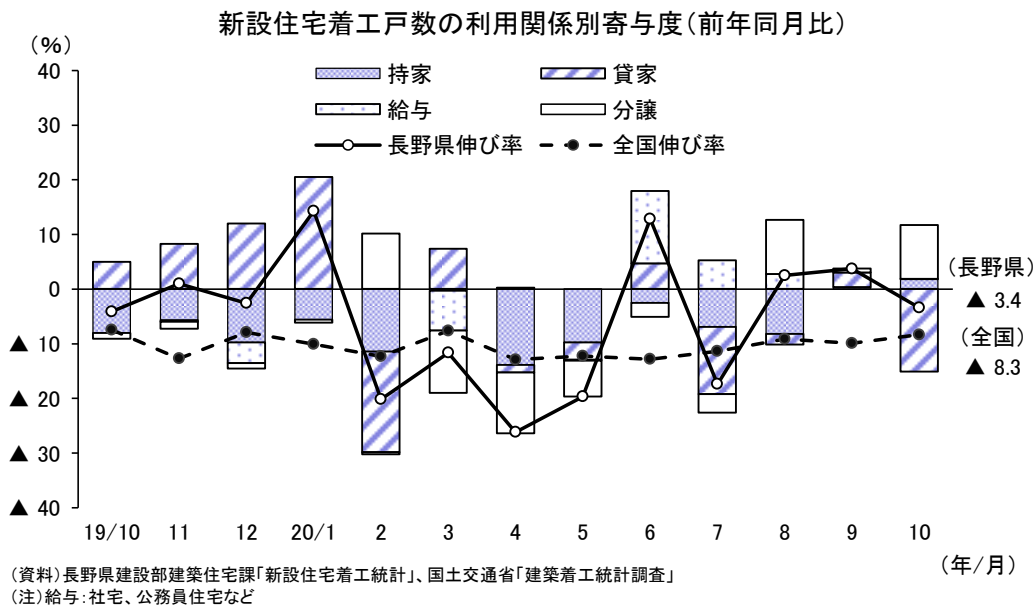
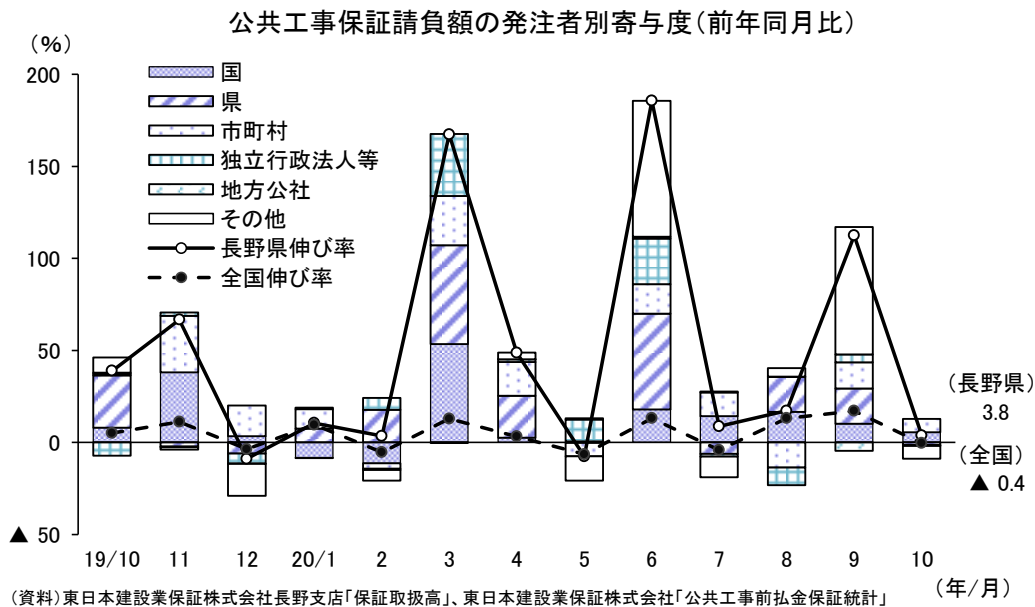
- 10月の大型小売店売上高は、前年同月比+9.9%（売場面積調整前）となり、2カ月ぶりに前年を上回った。食料品は、新型コロナの感染予防のための内食需要により、生鮮食品の売り上げが増加し、同+9.3%となった。衣料品、雑貨・その他は、消費税増税で売り上げが減少した前年の反動が大きく、衣料品は同+6.4%、雑貨・その他は同+17.9%となった。
- 10月の乗用車新車販売は、新型コロナウイルスの影響はあるものの、前年同月が消費税増税や台風19号の影響で販売が落ち込んだこともあり、前年同月比+24.8%と13カ月ぶりに前年を上回った。普通車（同+26.5%）、小型車（同+25.4%）は13カ月ぶりに、軽自動車（同+23.1%）は3カ月ぶりに前年を上回った。



建設投資

公共工事保証請負額は5カ月連続で前年を上回る

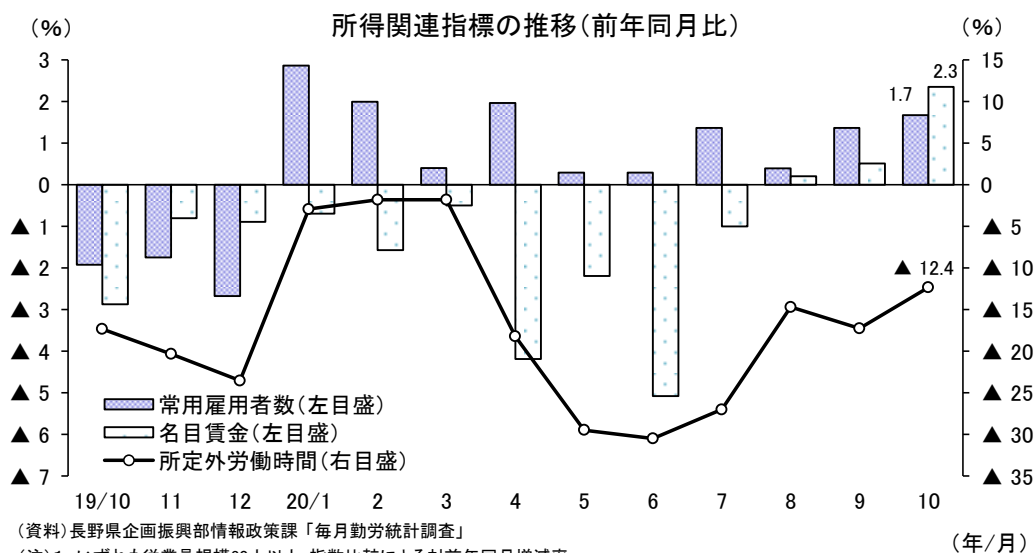
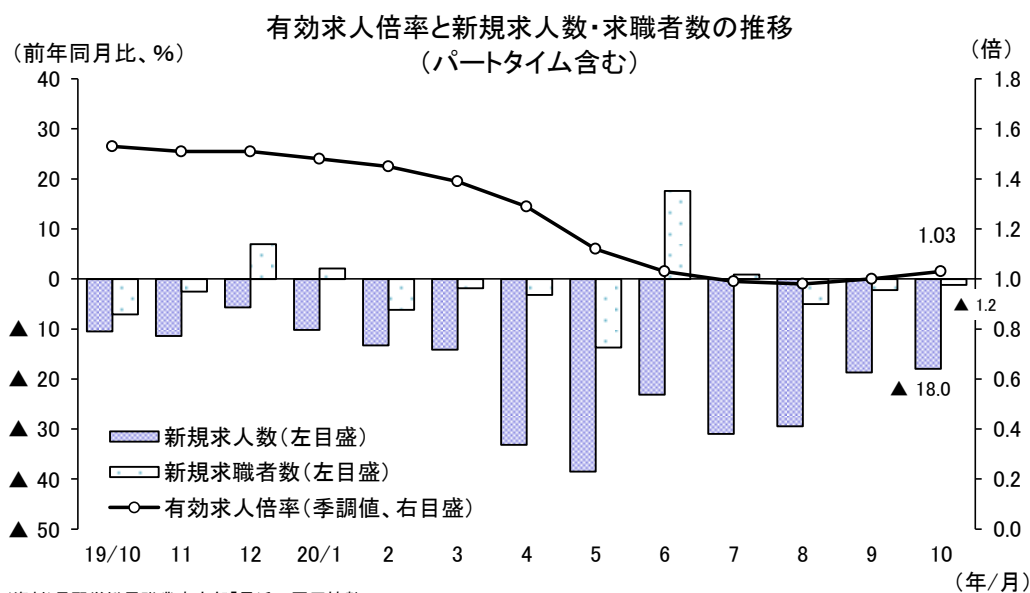
- 10月の公共工事保証請負額は、前年同月比+3.8%の188億4,300万円となり、5カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、県が同△3.1%、独立行政法人等が同△8.0%、地方公社が同△35.6%、その他が同△89.0%と減少したが、国が同+49.9%、市町村が同+21.2%と増加した。
- 10月の新設住宅着工戸数は1,080戸で、前年同月比△3.4%と3カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同+3.6%、分譲が同+94.0%と増加したが、貸家が同△38.5%と減少した。



雇用

有効求人倍率は2カ月連続で前月を上回る

- 10月の有効求人倍率は前月比+0.03ポイントの1.03倍と、2カ月連続で前月を上回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△18.0%となり、20カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△12.4%、パートは同△19.1%となった。産業別では、建設業が同+13.5%、金融業・保険業が同+19.2%、教育・学習支援業が同+2.8%と前年を上回ったものの、宿泊業・飲食サービス業は同△32.2%、製造業は同△18.7%、医療・福祉は同△14.5%などと前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△1.2%と3カ月連続で前年を下回った。
- 常用労働者数は前年同月比+1.7%と10カ月連続で前年を上回り、名目賃金も同+2.3%と3カ月連続で前年を上回った。一方、所定外労働時間は同△12.4%と22カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は2職業安定所が1倍割れ

- ・10月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.65ポイントの1.16倍、東信が同△0.51ポイントの1.10倍、中信が同△0.49ポイントの1.10倍、南信が同△0.44ポイントの0.97倍となった。14カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、伊那が0.84倍、須坂が0.96倍と1倍を下回った。
- ・長野県の有効求人倍率は7カ月連続で全国を下回り、全国順位は前月から2つ上げ29位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(20年10月)

地域	北 信(1.16) (前年同月比▲0.65)				東 信(1.10) (前年同月比▲0.51)		中 信(1.10) (前年同月比▲0.49)			南 信(0.97) (前年同月比▲0.44)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.23	1.10	1.16	0.96	1.02	1.19	1.05	1.37	1.39	1.03	0.84	1.02
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.88	▲ 0.29	▲ 0.52	▲ 0.64	▲ 0.57	▲ 0.44	▲ 0.44	▲ 1.30	▲ 0.69	▲ 0.35	▲ 0.66	▲ 0.35
うち常用	1.16	1.08	0.91	0.92	0.91	1.13	0.96	1.31	0.77	0.92	0.74	0.93
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.66	▲ 0.26	▲ 0.41	▲ 0.57	▲ 0.43	▲ 0.41	▲ 0.35	▲ 1.13	▲ 0.50	▲ 0.34	▲ 0.59	▲ 0.38

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

